

2019年4月8日

日本電通株式会社
日本電通グループ

(NNC株式会社)
(エス・アイ・シー株式会社)
(NDIソリューションズ株式会社)
(四国システム開発株式会社)

AI 画像認識技術を活用した帳票自動仕分けから OCR・RPA の連動による 帳票入力作業までを完全自動化

「BPA シリーズ」第二弾：「BPA2」の販売を開始

～ヒトによる帳票入力作業を AI・OCR・RPA により自動化し、業務の効率化・省力化をはかり、働き方改革に貢献します～

日本電通グループ（※1）は、業務プロセスの自動化を目的とした「BPA (Business Process Automation) シリーズ」（※2）第二弾リリースとして、紙帳票（請求書／注文書 等）から業務システムへの転記入力作業の自動化を支援するソリューション「BPA2」（※2）を2019年4月より販売開始いたします。

（※1）「日本電通グループ」

日本電通株式会社	(本社：大阪府大阪市、代表取締役会長兼社長： 上 敏郎)
NNC 株式会社	(本社：新潟県新潟市、代表取締役社長： 仁司 宏一)
エス・アイ・シー株式会社	(本社：大阪府大阪市、代表取締役社長： 仁司 宏一)
NDI ソリューションズ株式会社	(本社：東京都品川区、代表取締役社長： 岩井 淳文)
四国システム開発株式会社	(本社：徳島県徳島市、代表取締役社長： 日下 修伸)

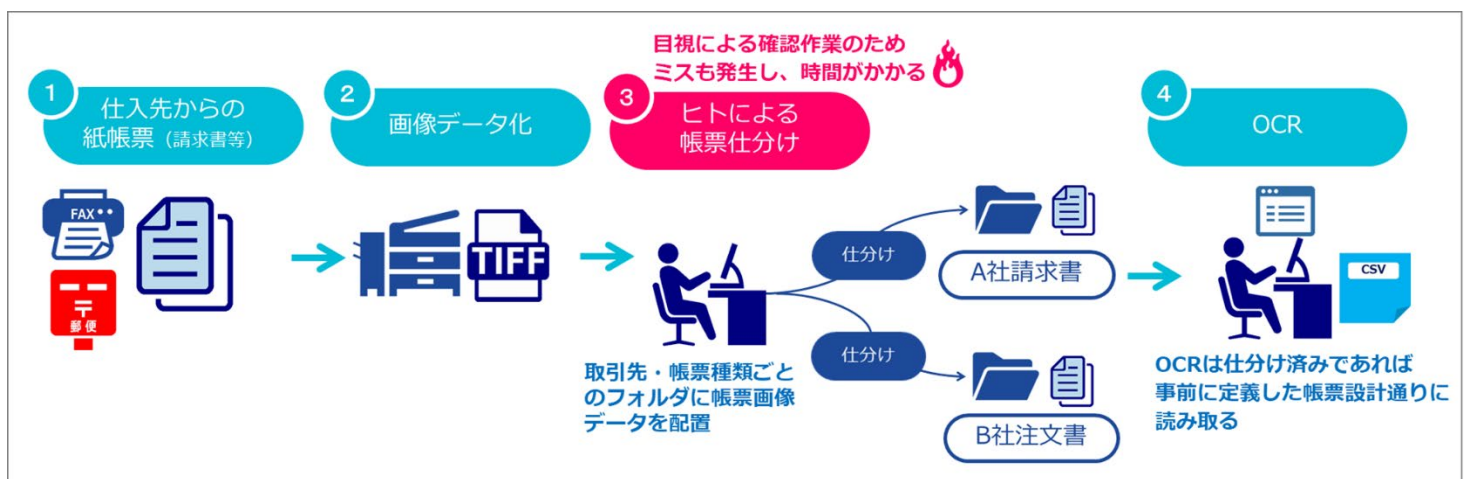
（※2）「BPA シリーズ」「BPA2」

「BPA シリーズ」及び「BPA2」は、日本電通グループのエス・アイ・シー株式会社「AI ソリューションサービス事業：AI-labo」が開発し、同グループが販売する業務プロセス自動化製品です。

帳票自動仕分けソリューション「BPA2」について

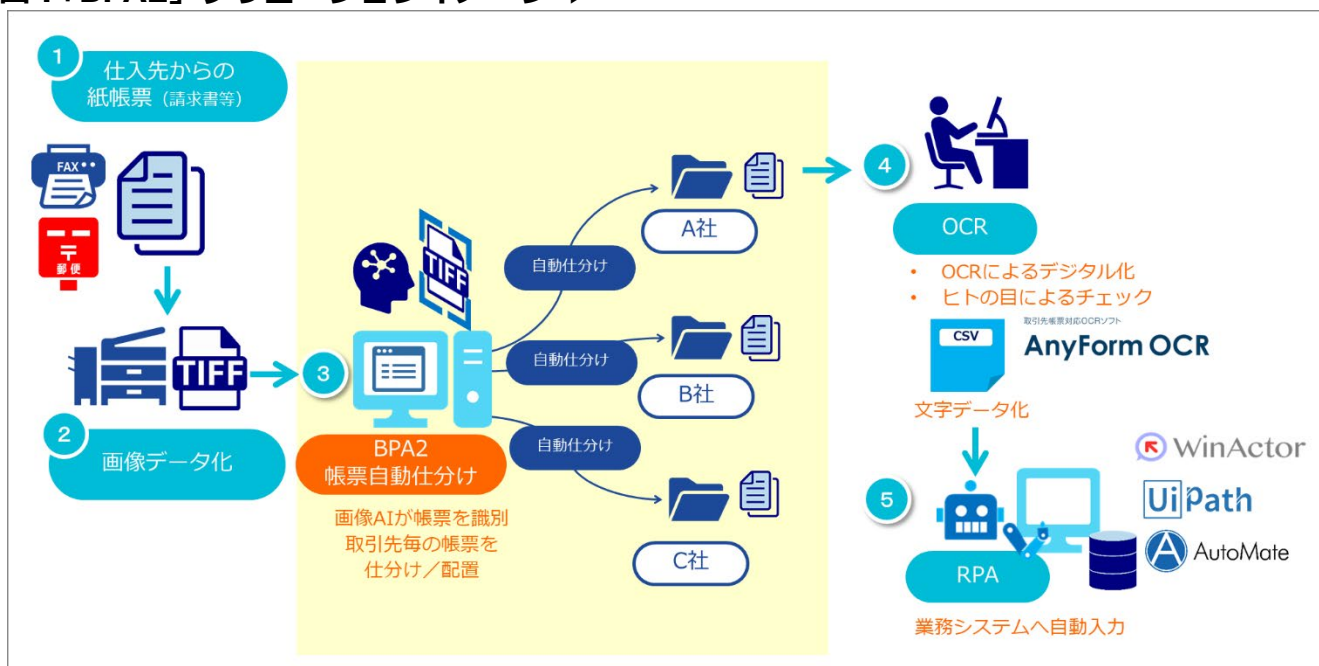
社内業務のペーパーレス化は進んでいるものの、取引先との受発注や請求などの事務手続きには、依然として多くの FAX や紙帳票が使われています。昨今の働き方改革を背景に、多くの企業では紙を使用した業務をいかに効率化できるかが、生産性向上の課題のひとつとなっています。そこで、購買部門や経理部門等におけるヒトによる紙帳票からシステムへの入力作業効率化の解決策として、OCR（光学的文字認識）と RPA（Robotic Process Automation）の活用が注目されています。しかし、OCR が帳票設計通りに精度高く帳票の内容を読み取るには、ヒトが帳票の種類や、どの取引先の帳票かを識別・仕分けしたうえで OCR 処理する必要があり、効率化・自動化の課題となっていました。

< 図：OCR 前工程のヒトによる帳票仕分け >



「BPA2」は、ヒトによる帳票識別を AI による画像認識に置換えることで、OCR 前工程である「帳票仕分け作業」を自動化した製品です。「BPA2」と OCR 製品および RPA 製品を組み合わせることにより、帳票の読み取り作業から業務システムへの入力作業まで一貫した作業の自動化が行えます。これによって働き方改革で真に求められる業務効率化・生産性向上に貢献します。

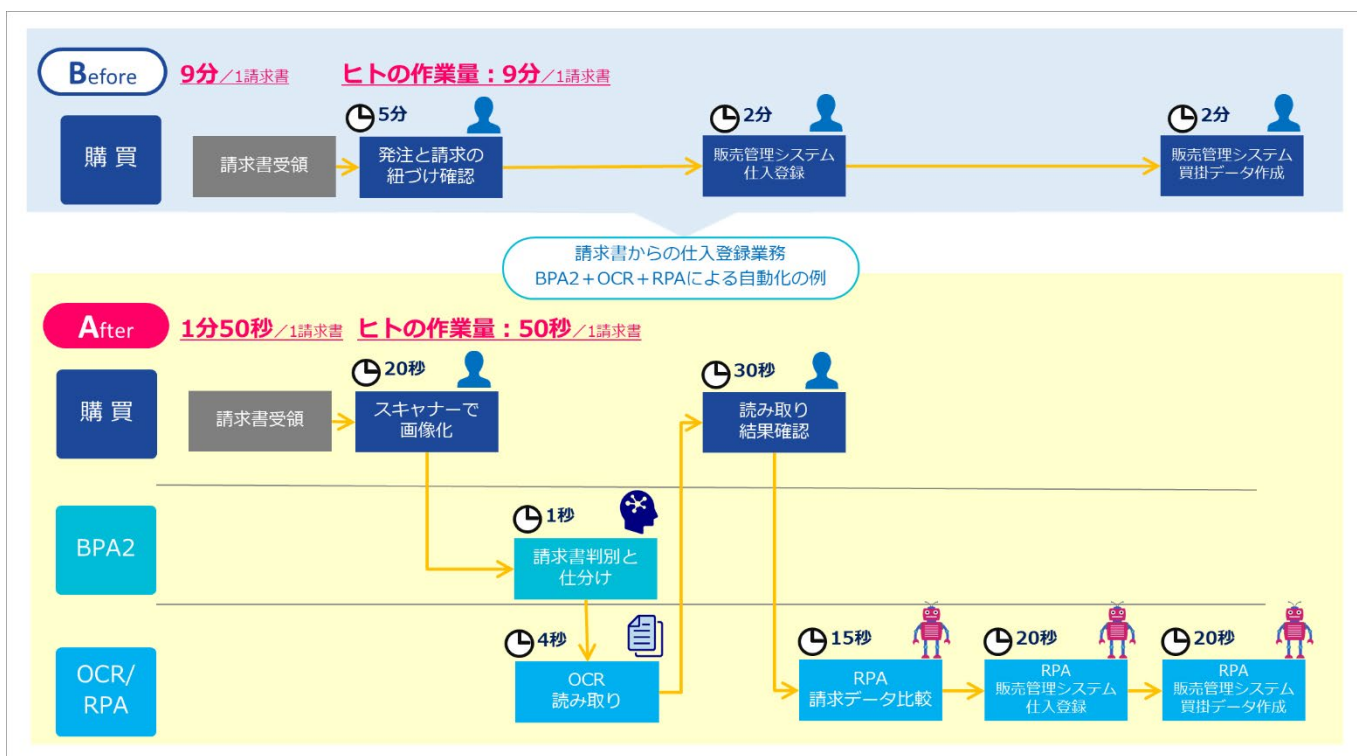
< 図：「BPA2」ソリューションイメージ >



日本電通グループは「BPA2」初期導入時における画像 AI への帳票学習から、連携する OCR 帳票読み取り設計、RPA ロボットによる業務システムへの入力自動化タスク作成、運用時のサポートまでワンストップでサービスをご提供します。また先行販売している RPA 管理ソリューション「BPA1」(※3)を活用することで、帳票処理業務フローの可視化や、連携する RPA ロボットの導入起案・開発・テスト・稼働までのライフサイクル管理、RPA ロボットの稼働状況の一元管理までを支援します。

「BPA2」は、OCR 製品「AnyForm OCR」(※4)と RPA 製品「AutoMate」(※5)との組み合わせにより、先行して 2019 年 3 月より日本電通グループ内の購買部門に導入を開始しました。請求書の入力業務を自動化した結果、従来 1 請求書あたり 9 分かっていた業務を 1 分 50 秒に約 80%短縮し、この業務の内、ヒトの作業量を 9 分から 50 秒に約 90%短縮する効果を確認できました。今後、注文書からの受注入力等への活用も予定しています。

< 図：購買部門における自動化の例 >



< 「BPA2」 概要と連携検証済み OCR 製品・RPA 製品 >

<p>BPA2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● AI 画像認識技術を利用した帳票種類の識別・自動仕分け <p>お客様社内の複合機やスキャナーでデータ化した帳票画像データを、AI 画像認識製品（以下 3 製品）を利用して帳票を識別し、事前に定義された仕分けルールに従って帳票画像データをフォルダに自動配置します。</p> <p><AI 画像認識製品>（※6）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft Azure Custom Vision ・ IBM Watson Visual Recognition ・ Google Cloud Vision <p>画像 AI への学習は、帳票 1 種類あたり数枚の画像データを画像 AI へ登録するだけの短時間の簡単な操作です。そのため帳票の種類が追加されても、業務担当者が容易に新たな帳票へ対応させることができます。</p>
<p>連携検証済み OCR 製品</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 取引先帳票対応 OCR 製品による請求書や見積書の読み取り <p>取引先帳票対応 OCR ソフト「AnyForm OCR シリーズ」（※4）との組み合わせを検証済みです。同製品により、以下①②の作業を実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 仕分け済み帳票フォルダを監視し、帳票画像データが自動仕分けされると OCR 処理が開始します。 ② ベリファイヤー機能によって、読み取り精度が低い箇所はヒトの目による検証・校正を行い、読み取り結果が CSV データとして出力されます。 <p>他社 OCR 製品との連携も順次検証予定です。</p>
<p>連携検証済み RPA 製品</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● RPA による帳票データの業務システムへの自動転記 <p>RPA 製品（以下 3 製品）の組み合わせを検証済みです。OCR が出力した CSV データを RPA ロボットが読み取り、業務システムへ自動転記します。</p> <p><RPA 製品>（※5）</p> <p>WinActor / UiPath / AutoMate</p>

（※3）「BPA シリーズ」「BPA1」 「BPA1」は「BPA シリーズ」の先行販売製品（2019年3月29日発表/4月販売開始）です。

「BPA1」は、管理者不在の RPA ロボットの増加を防ぎ、内部統制の視点からロボットの適切な導入計画・稼働管理を支援する RPA 管理ソリューションです。「BPA2」と同様、日本電通グループのエス・アイ・シー株式会社「AI ソリューションサービス事業：AI-labo」が開発し、同グループが販売する業務プロセス自動化製品です。

（※4）「AnyForm OCR」 OCR 製品。株式会社ハンモックの商標または登録商標の商標です。

「AnyForm OCR」は、優れたデザイナーツールで取引先帳票を簡単に OCR 設計することができる汎用 OCR ソフトウェアです。帳票ごとに OCR 項目を座標指定する従来方式に加え、個別帳票設計不要で OCR 処理したい項目（キーワード）を登録する方式の 2 つの方法をご提供します。これにより従来 OCR 化が困難であった取引先帳票の処理を可能にし、入力業務の大幅な効率化を実現します。その他、OCR 結果を確認する画面を運用に合わせて自由に設計できるなど、現場に喜ばれる多くの仕組みを搭載した実践型の OCR ソフトです。

（※5）「WinActor」 RPA 製品。NTT アドバンステクノロジー株式会社の登録商標または商標です。

「UiPath」 RPA 製品。UiPath 株式会社の登録商標または商標です。

「AutoMate」 RPA 製品。米国の IT ベンダー、HelpSystems 社の登録商標または商標です。

（※6）「Microsoft Azure」 / 「Azure Custom Vision」 画像認識 AI

米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

「IBM Watson」 / 「IBM Watson Visual Recognition」 画像認識 AI

世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。

「Google Cloud Vision」 画像認識 AI

Google LLC の商標または登録商標です。

「BPA2」価格について

BPA2

<月額利用料金> ¥35,000 - (税抜) から

※Microsoft Azure Custom Vision 画像 AI による帳票識別 5000 枚分/月、画像学習 1000 枚/月、学習回数 5 回/月を含む

<初期導入支援サービス費用> ¥300,000 - (税抜) から

※BPA2 プログラムの導入、10 帳票までの画像 AI 学習・自動仕分け設定、操作レクチャーを含む

連携する OCR 製品、RPA 製品のライセンス販売、および BPA2 と組み合わせた環境構築・技術支援サービスについても、日本電通グループがワンストップで提供可能です。別途見積とします。

株式会社ハンモック様からのエンドースメント

株式会社ハンモック 代表取締役社長 若山 大典様

株式会社ハンモックは、「BPA2」の販売を心より歓迎いたします。

お客様が「BPA2」と弊社製品「AnyForm OCR」を組み合わせることで活用することにより、さらなる入力業務の効率化を実現されると確信しております。今後も弊社は日本電通グループと連携して、お客様のビジネスの発展を支援いたします。

本リリース・ソリューションについてのお問合せ

日本電通株式会社 広報担当

Tel : 06-6577-4191

E-mail : itsol_1@ndknet.co.jp

NNC 株式会社 営業担当

Tel : 025-378-2221

E-mail : salesinfo@nncnet.co.jp

エス・アイ・シー株式会社 広報担当

Tel : 03-5447-6842

E-mail : ai-labo.info@ai.netsic.co.jp

NDI ソリューションズ株式会社 広報担当

Tel : 03-6422-3885

E-mail : ndi.info@ndisol.com

四国システム開発株式会社 営業担当

Tel : 088-626-5550

E-mail : info@ssdc.co.jp